

DVD
VIDEO

お世話になりました。
この家で過ごした日のことは、
一生忘れません——



逢ふなる 山田洋次監督作品

原作 / 山田洋次
脚本 / 山田洋次
朝間義隆

山の呼び声



遙かなる

山の呼び声











かんにん
堪忍してくれ このとおり返る










それで 寂しくなって来たんか



父さん死んで 寂しいか

A dark, dimly lit room, possibly a bedroom or a small living space. A person is sitting on a bed or a low table, looking towards the camera. A dog is lying on the floor in the foreground. The room is cluttered with various items, including a box and a framed picture on the wall. A lantern is visible on the right side of the frame.

おじさんの父さんも おじさんが
武蔵の年に死んだんだぞ



仕事に行き詰まってな



借金が返せなくなつて



うちの近くの川の橋の下で




首くくって死んだんだよ



おじさんの母さんは



そのころ家にいなくてな

A man with dark hair, wearing a dark blue long-sleeved shirt, is shown in a dimly lit room. He is looking downwards with a somber expression. The room appears to be a workshop or a storage area, with wooden beams and a hanging lantern visible in the background. The lighting is low, creating a moody atmosphere.


おじさんと兄さんと父さんとで
喜らしてたんだけどな




その父さんが
死んだ^んつて言うから



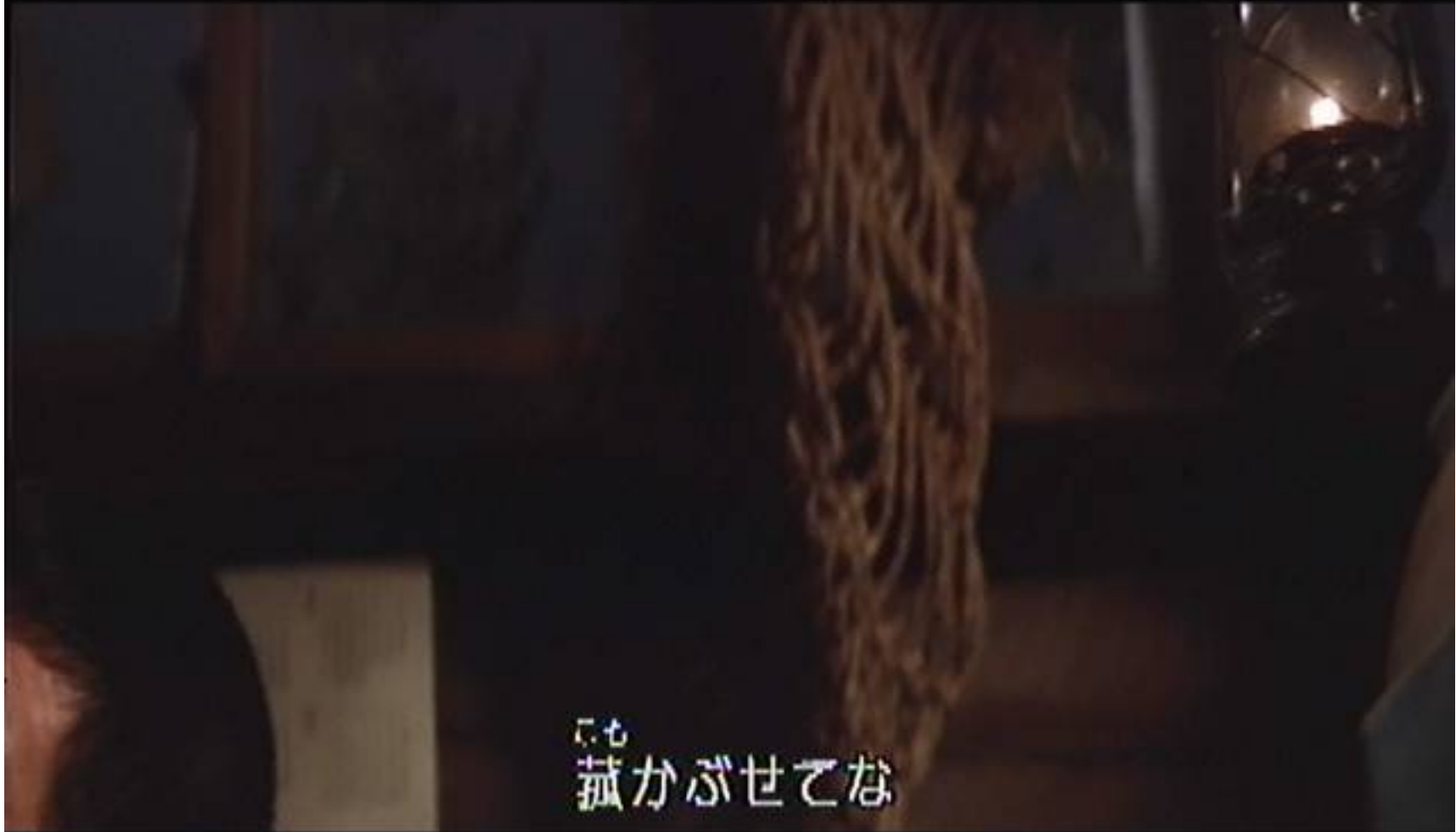
兄さんとリヤカーで
迎えにいったんだ

A dark, atmospheric scene featuring a lit lantern in the center. To the right, the shoulder and arm of a person wearing a blue garment are visible. The background is mostly obscured by shadows, with some faint vertical lines suggesting a structure. The overall mood is somber and mysterious.

橋の下にぶら下がってる
父さんを下ろして

A person is shown from the side, holding a lit lantern. The lantern is the primary light source, casting a warm glow. The person is wearing a light-colored shirt. The background is dark and indistinct, suggesting an indoor setting at night. The overall mood is quiet and focused.

リヤカーに乗せて



こも
菰かぶせてな



兄さんと2人で



引っ張って帰るんだけど



町の人が



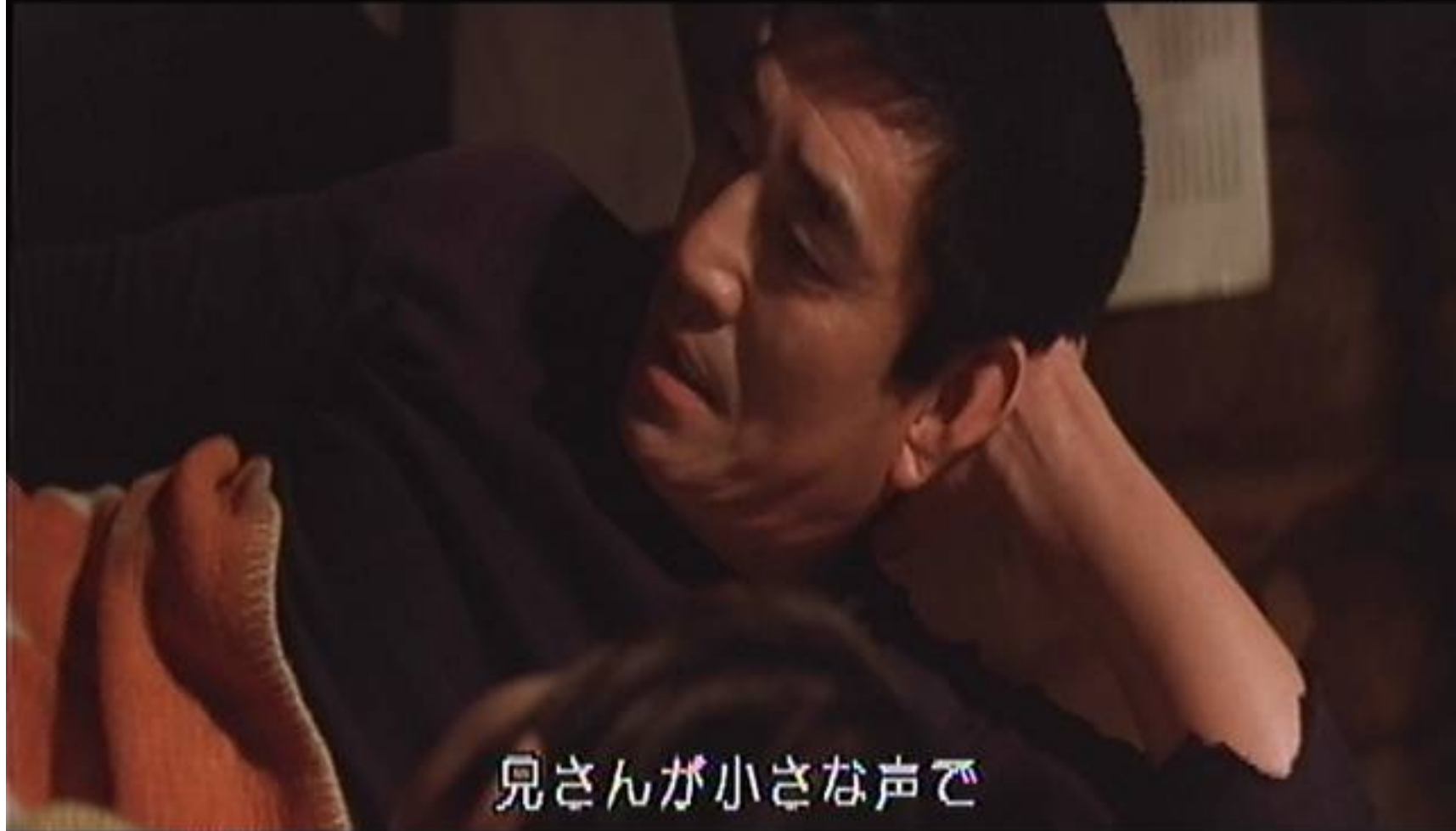
いっぱい見に来てな



おじさん悲しくて



泣き出しそうになるんだけど



兄さんが小さな声で



「泣くな」



「みつともないから泣くな」
そう言うんだ



おじさん 必死になって
我慢して




歯をくいしばって



涙こらえて歩いたんだ



男が生きていくには



我慢しなくちゃならないことが
いっぱいあるんだ



馬は訓練しなきゃ
速く走らないんだぞ



今、手綱引っ張られてるから
走りたくても走れないんだ



顔 見てみる
イライラしてるのわかるだろう



こうやって じらしといて
この次は



ゆる
手綱を緩めると同時に
自分の体も前に出すんだ







—アナウンス—
「次の停車駅は遠軽です」
えんがる



「網走行き 急行“大雪”
次の停車駅は終着駅 網走です」




あんた 牛飼いやめて



なかしベコ
中標津で
働いてるんだってね



(息子と2人で)




旦那
(何年も先に帰ってくる旦那を
待ってるって話 本当かね)




(暮らしの方は心配ねえのかい)



あひた
(蛇田さんがいろいろと)



ああ あのバカが あれが
親切に面倒 見てくれてるんだ



そりゃよかった
本当によかった よかった









